

水から、ドラマチックに。

SANEI

2023年3月期第3四半期 決算説明資料



2023年2月3日

SANEI 株式会社

証券コード：6230

(東京証券取引所 スタンダード市場)



売上高

19,489 百万円

前年同期増減率

14.3 %

進捗率

75.0 %

営業利益

465 百万円

前年同期増減率

△58.9 %

進捗率

66.6 %

親会社株主に帰属する
四半期純利益

293 百万円

前年同期増減率

△61.5 %

進捗率

73.4 %

※「進捗率」は通期連結業績予想（2022年10月31日に修正）に対する進捗です。

- 売上高は各販売ルートともに堅調に推移。
進捗率は通期業績予想の75%まで到達。
- 材料価格（銅相場）は依然として高止まりし、原材料・仕入価格への影響大。一方で、販売価格改定が進み、第3Qの収益性は改善。
(四半期単位の業績推移はp.3をご参照ください)

2 損益の概要

- 新規連結会社の増加、既存販売ルートもデザイン水栓シリーズや高機能製品など、高付加価値製品の販売強化により売上が拡大し、増収となった。
- 原材料・仕入価格の高騰により売上総利益率が前期31.2%⇒当期28.0%に低下。一時的な広告宣伝費の増加などにより、営業利益・経常利益は大幅な減益となった。

販売ルートの概況
はp.4へ

営業利益の増減要因
はp.5へ

2022年3月期 **2023年3月期** (単位：百万円)

3Q累計 売上高
比率 **3Q累計** 売上高
比率 前年
増減 前年
増減率

売上高	17,049	100.0%	19,489	100.0%	+2,440	+14.3%
売上総利益	5,313	31.2%	5,463	28.0%	+150	+2.8%
営業利益	1,135	6.7%	465	2.4%	△669	△58.9%
経常利益	1,152	6.8%	450	2.3%	△702	△60.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	761	4.5%	293	1.5%	△468	△61.5%

1株当たり四半期純利益 332円73銭

128円18銭



MONOTON

3 四半期業績の推移



YORI
SUTTO

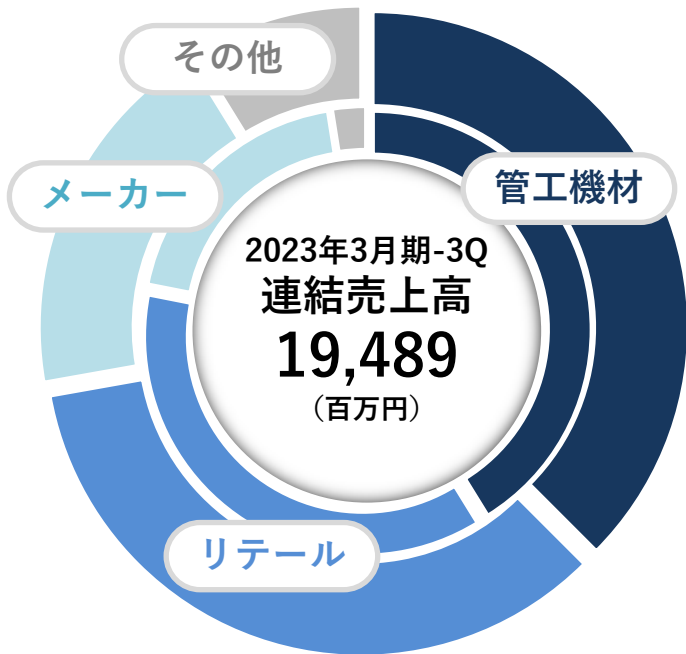
当期第3Qは高付加価値製品の販売を中心に売上は堅調。利益面では、販売価格の改定が進み、当期第1Q・第2Qと比較し大幅な増益を達成。

(単位：百万円)

前期 2022年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
売上高	5,587	5,471	5,990	5,950	22,999
進捗率：四半期	24.3%	23.8%	26.0%	25.9%	
：累計	24.3%	48.1%	74.1%	100.0%	
営業利益	354	338	442	342	1,477
進捗率：四半期	24.0%	22.9%	30.0%	23.2%	
：累計	24.0%	46.9%	76.8%	100.0%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	211	253	297	237	999
進捗率：四半期	21.1%	25.3%	29.8%	23.8%	
：累計	21.1%	46.4%	76.2%	100.0%	

当期 2023年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期 (業績予想)
売上高	6,423	6,210	6,855		26,000
進捗率：四半期	24.7%	23.9%	26.4%		
：累計	24.7%	48.6%	75.0%		
営業利益	97	6	361		700
進捗率：四半期	14.0%	0.9%	51.7%		
：累計	14.0%	14.9%	66.6%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	35	△67	325		400
進捗率：四半期	8.9%	△16.9%	81.4%		
：累計	8.9%	△8.0%	73.4%		

4 販売ルート別の概況



販売ルート別 売上構成
(外円：当期／内円：前期)

	前期 増減	
管工機材		現場物件やデザイン水栓シリーズ、洗面商材などの水域戦略、展示会など販促活動により売上は堅調に推移。
リテール		E C市場は引き続き売上が拡大。ウルトラファインバブル製品を中心とした高機能製品やホームセンター向けのP B商品などの販売が好調。
メーカー		住設メーカー向け新規標準採用品が売上増加に貢献。賃貸住宅市場向けの受注が回復。

※注) 当期から連結対象会社が増えたため、「その他」の売上が増加しています。そのため、各販売ルートの売上構成比は横ばい、もしくは下がっています。

ウルトラ
ファインバブル
ミスト洗顔



毛穴の汚れやメイクも
こすらず落とす
ミストで落とす

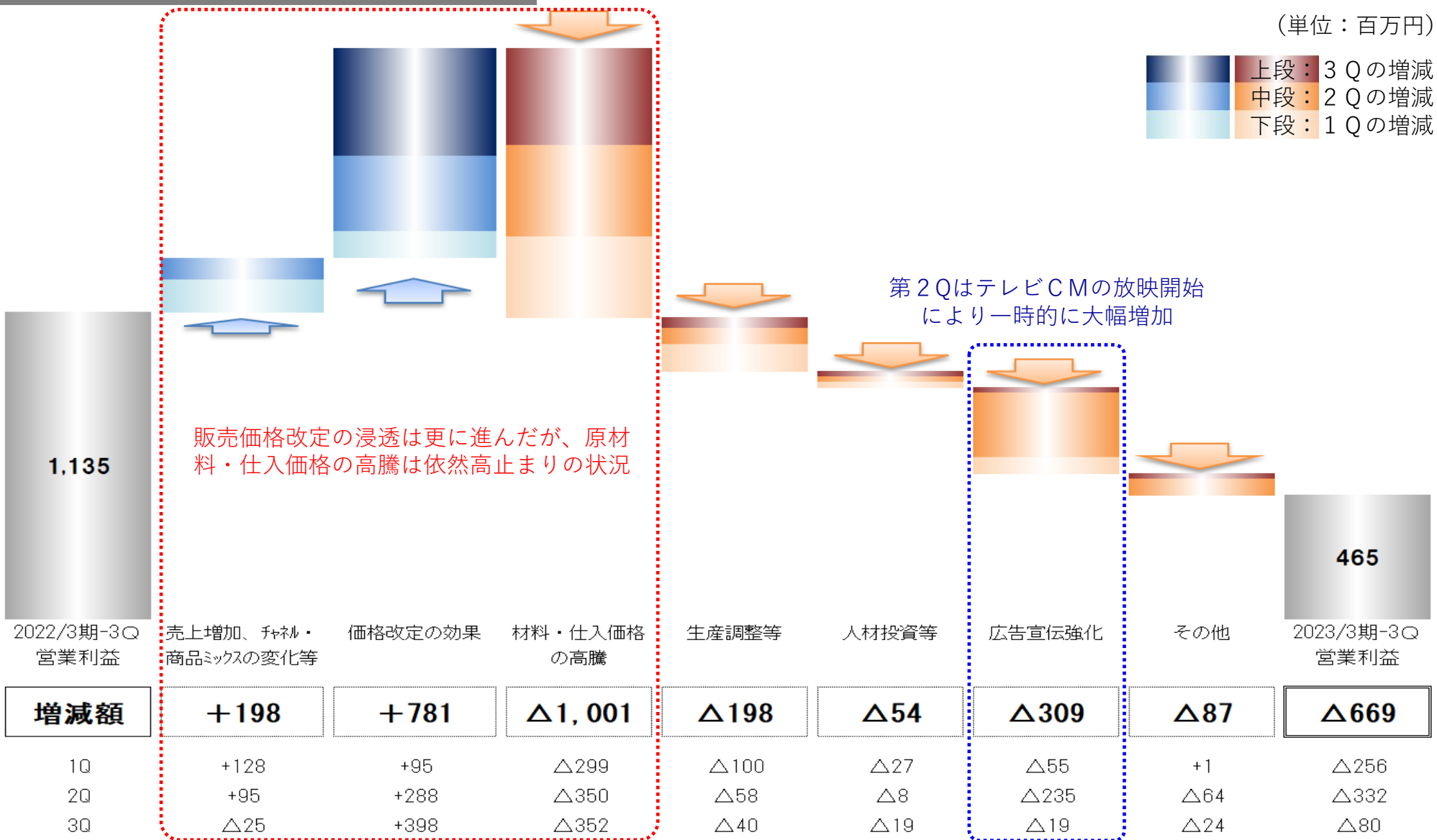


5 営業利益の増減要因

前年差異△669百万円の内訳

(単位：百万円)

上段：3Qの増減
 中段：2Qの増減
 下段：1Qの増減



6 連結BS（資産・負債・純資産）

- 棚卸資産と仕入債務の増加は、原材料・仕入価格の高騰が影響。
- 建設仮勘定の増加は、主に岐阜工場の増改築が要因。

		2022年 3月末	2022年 12月末	前期末 増減	(単位：百万円) 主な要因
資 産	流動資産	14,925	15,162	+236	・現金預金 +60 ・売上債権 △103 ・棚卸資産 +147
	固定資産	7,542	7,750	+208	・建設仮勘定 +190
資 産 合 計		22,467	22,912	+444	
負 債	流動負債	7,702	7,843	+140	・仕入債務 +527 ・未払法人税等 △284 ・賞与引当金 △188
	固定負債	2,812	2,927	+114	・長期借入金 +117
負 債 合 計		10,515	10,770	+255	
純 資 産 合 計		11,952	12,141	+189	・当期純利益 +293 ・剰余金の配当 △217
負 債 純 資 産 合 計		22,467	22,912	+444	



7 株主還元（配当実績・計画）

- 2023年3月期の中間配当は、当初の配当予想通り48円で実施しました。通期の年間配当予想についても、年間96円の配当にて変更ありません。

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)
	中間 円 銭	期末 円 銭	合計 円 銭		
2017年3月期	5.00	10.00	15.00		4.7%
2018年3月期	10.00	15.00	25.00		9.5%
2019年3月期	15.00	15.00	30.00		11.2%
2020年3月期	15.00	30.00	45.00	88百万円	14.0%
2021年3月期	30.00	45.00	75.00	161百万円	15.3%
2022年3月期	45.00	47.00	92.00	210百万円	21.1%
2023年3月期 (期末は予想)	48.00	48.00	96.00	219百万円	54.9%

- ◆ 2020年1月2日付で株式1株につき10株の株式分割を行っております。当資料では2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。
- ◆ 2021年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 30円00銭・東証二部市場上場記念配当15円00銭となっております。
- ◆ 2022年3月期 期末配当金の内訳は、普通配当 45円00銭・株式上場1周年の記念配当2円00銭となっております。

cye

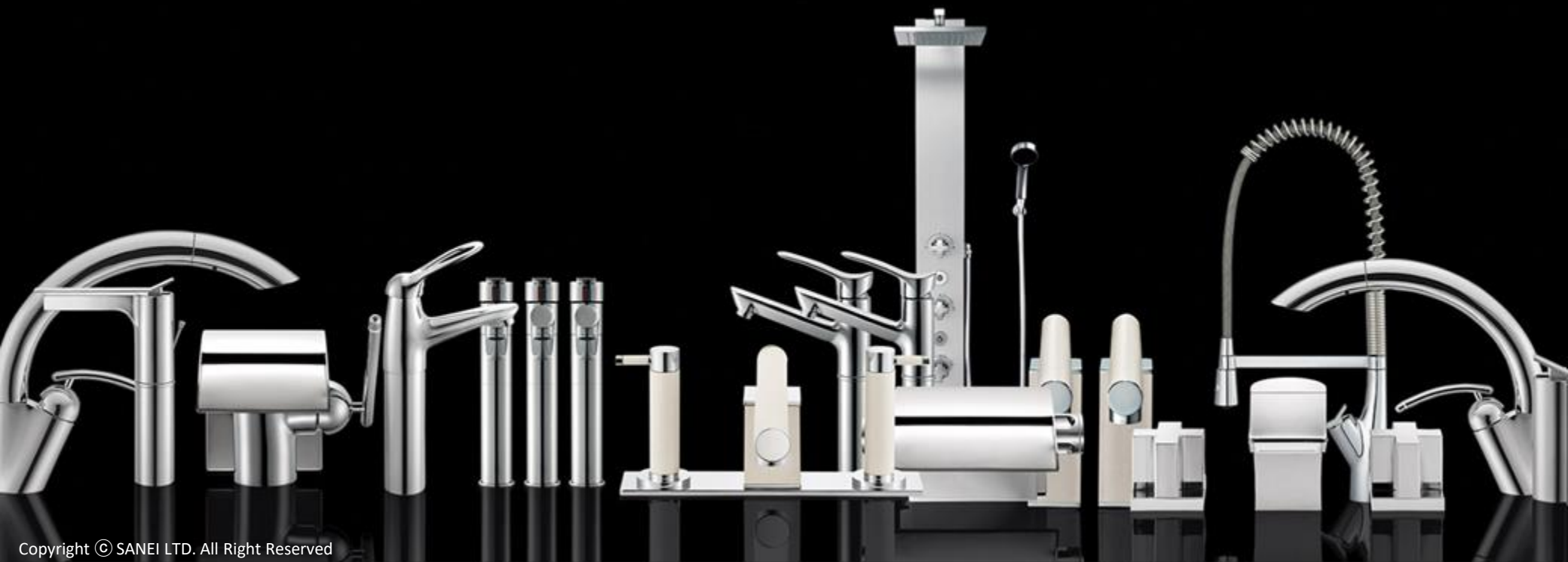
H₂O DESIGN

水をデザインする。

We design water.

SANEI

補足資料



社名	SANEI株式会社
事業内容	給水栓・給排水金具・継手 および配管部材の製造・販売
創業	1954年（昭和29年）9月
代表者	代表取締役社長 西岡 利明
本社	大阪市東成区玉津1丁目12番29号
資本金	432百万円 ※2022年12月末時点
連結業績	売上高：22,999百万円 経常利益：1,492百万円 ※2022年3月期
従業員	連結：875名 単体：664名 ※2022年3月末時点
グループ会社	株式会社アクアエンジニアリング 大連三栄水栓有限公司 株式会社水生活製作所 美山鑄造株式会社

東京ショールーム



名古屋ショールーム



大阪ショールーム



福岡ショールーム



表参道ショールーム(WAILEA)



青山ショールーム(FLUSSO)



ALWAYS WITH JOY

きょうも、あしたも、
人のそばに。喜びのそばに。

朝起きて、顔を洗う。

汗を流して、疲れを癒やす。

めざめて、活動をして、眠りにつくまで、

私たちの商品に触れるところから一日が始まり、

触れることでまた一日の終わりを迎える。

そんな日々が、きょうも、あしたも、続いていく。

私たちにとって、その人の一日に寄り添うことは

その人の人生そのものに寄り添うことでもあります。

ALWAYS WITH JOY.

いつもあなたの喜びのそばに。

そんな願いを込めて

SANEIはすべての商品をお届けしています。

給水栓・給排水金具



単水栓・止水栓



キッチン用
シングル混合栓（センサー式）



洗面所用
シングルスプレー混合栓（洗髪用）



バスルーム用
サーモシャワー混合栓

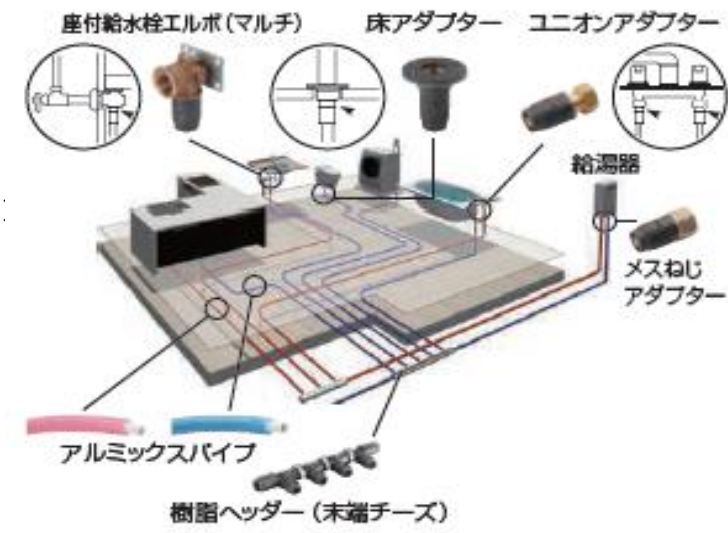


シャワー用品



トイレ用品

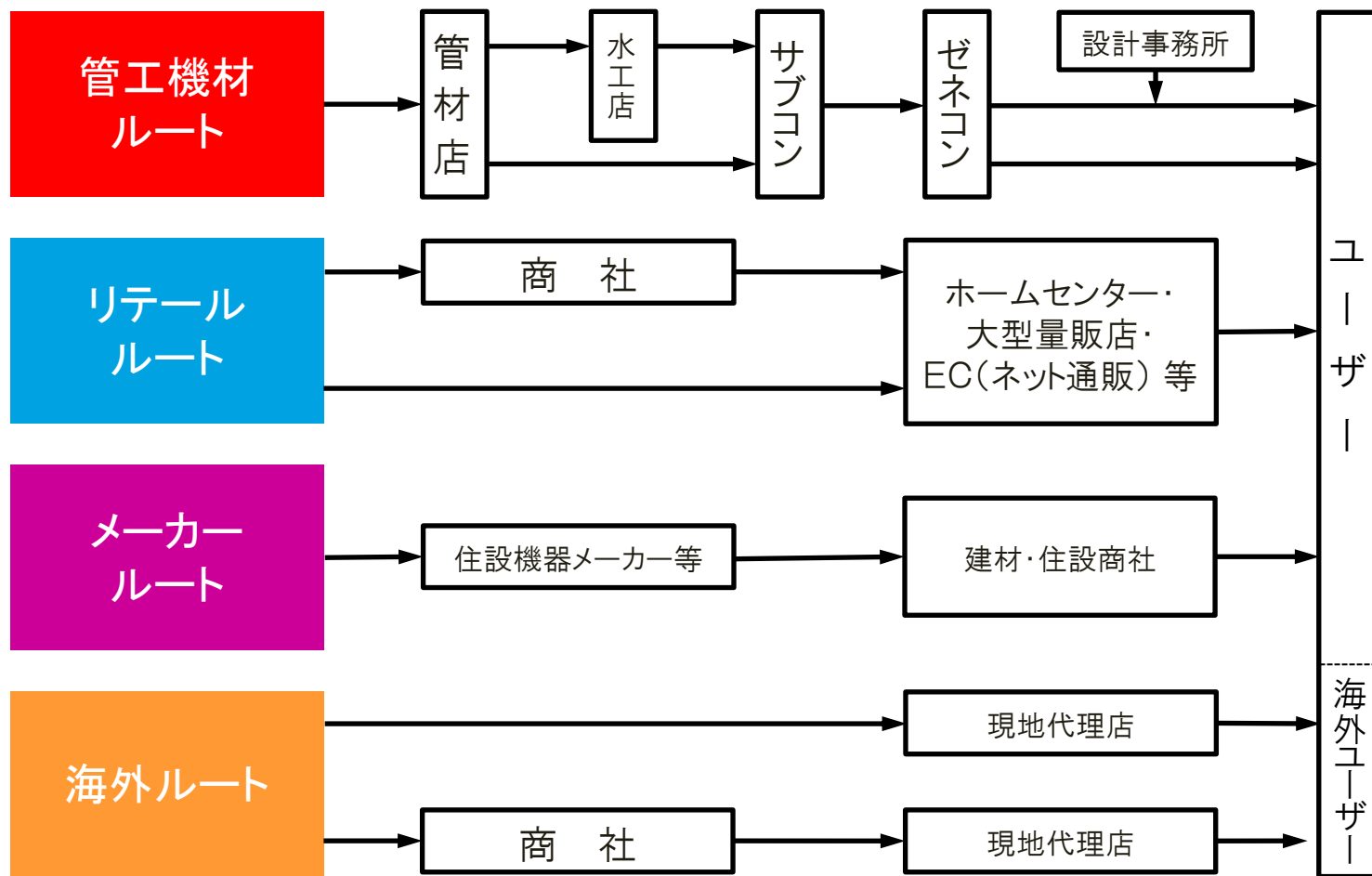
継手および配管部材



デザイン水栓シリーズ



水まわり資材を扱う管材店向けの「管工機材」から、住宅設備「メーカー」、ホームセンターなどの「リテール」までバランスよく展開



2支社・2支店を中心に19営業所・4出張所で、全国を網羅するネットワークを構築

【2支社・2支店・19営業所・4出張所体制】

- 三大都市圏と福岡に設置した2支社・2支店を中心に、管工機材ルート的主要顧客である管材店に対して、全国隈なく網羅的にサービスが提供できる営業ネットワークを構築
- リテールルートとメーカールート的主要顧客（=事業規模が大きい）については、支社支店が中心となって本部（主に大都市圏に設置）にて対応

連結子会社

- (株)アクアエンジニアリング
- 大連三栄水栓有限公司（中国）
- (株)水生活製作所
- 美山鑄造(株)



営業所：19拠点

- ⑤札幌営業所
- ⑥盛岡営業所
- ⑦仙台営業所
- ⑧郡山営業所
- ⑨つくば営業所
- ⑩東京西営業所
- ⑪さいたま営業所
- ⑫千葉営業所
- ⑬横浜営業所
- ⑭新潟営業所
- ⑮金沢営業所
- ⑯静岡営業所
- ⑰京都営業所
- ⑱神戸営業所
- ⑲広島営業所
- ⑳松山営業所
- ㉑熊本営業所
- ㉒鹿児島営業所
- ㉓沖縄営業所

出張所：4拠点

- ㉔宇都宮出張所
- ㉕高崎出張所
- ㉖長野出張所
- ㉗北九州出張所

■ 「DESIGN PRODUCT」 スペシャルサイトの掲載開始

「DESIGN PRODUCT」のスペシャルサイトの掲載を開始いたしました。SANEIが考えるデザイン水栓と、わたしたちのモノづくりのテーマ「水をデザインする」への思いを込めたコンテンツです。



詳しくは、当社ホームページ「DESIGN PRODUCT」をご覧ください。

<https://www.sanei.ltd/design/>

■ SANEI 企業CM「水から、ドラマチックに。」が2022 62nd ACC TOKYO CREATIBITY AWARDS フィルム部門 (テレビCM) でファイナリスト賞を受賞

2022年 6月よテレビCMをはじめとした当社企業広告「水から、ドラマチックに。」を展開しておりましたが、この度、テレビCM (15秒) が「2022 62nd ACC TOKYO CREATIBITY AWARDS フィルム部門(テレビCM) でファイナリスト賞を受賞いたしました。



動画・CMギャラリー等は当社ホームページにてご視聴いただけます。

<https://www.sanei.ltd/cm/>

■ デザインオフィス「nendo」がデザインを手がけるコレクション『soroe』販売開始

[削ぎ落とされた「面」によって空間を整えるコレクション]をコンセプトとした『soroe』の販売を開始しました。『soroe』は、デザインオフィス nendo (代表取締役/チーフデザイナー 佐藤オオキ氏) がデザインを手がけており、水栓・洗面器・鏡、タオル掛、アメニティトレイなどのアクセサリ等のアイテムをラインナップしているコレクションです。



当社ホームページ『soroe』DESIGN PRODUCT

<https://www.sanei.ltd/design/soroe/>

■ F B ミストシャワー「mitos」を岐阜県各務原市のふるさと納税返礼品に登録いたしました。

岐阜県各務原市のふるさと納税返礼品としてF B ミストシャワー「mitos」に登録いたしました。当社の工場が岐阜県各務原市にあるというご縁から、ふるさと納税を通じ、少しでもお役に立てればと思っております。



当社ホームページ『mitos』製品情報

<https://sfb.sanei.ltd/mitos/>

SANEIは、1954年の創業以来

「人類ある限り水は必要である」を理念とし、

地球に生きる一員としての自覚を持ち、

企業活動に取り組んできました。

安全で快適な暮らしを提案

持続可能な社会において、水は生活の基本であり、QOL (Quality of Life)の要ともいえます。健康・安心を求める人々のニーズに応え、すべての人が容易にアクセスでき、快適な暮らしを享受できる製品の提案に取り組んでいます。



地球や環境に優しいモノづくり

モノづくりに伴う環境負荷を最小化すること。そして生活の中での水利用における環境配慮。さらには洪水や地震など災害時におけるレジリエントなシステムの提案。自然と生活に関わる企業としてその使命を果たします。



働くよろこびとお客様や地域とのつながり

人とのつながりは企業のかけがえのない資産です。誰もが働きやすい環境と活躍できる機会を確保するとともに、お客様や地域とのパートナーシップを強化して社会に信頼される企業を目指しています。



DISCOVER
in Water

人もまた、循環の一部である

人類が豊かさを追い求めてきた結果、自然は破壊され、地球が悲鳴を上げている…環境問題が深刻さを増してきた20世紀の終わり頃からそうしたベシミスティックな世界観が世の中を覆いました。けれど人の文明は、暮らしとは、本当に地球にとって害悪でしかないのでしょうか。数々の“不都合な真実”を見る限り、人の活動が自然環境にネガティブな影響を与えている側面はもちろん否定できないでしょう。しかし人類を「自然と競合する存在」とみなすこと自体、見方によっては人間の傲慢とはいええないでしょうか。悲鳴を上げているのは地球というより、人間ではなかったでしょうか。

思えば人の営みもまた自然の摂理の中にあり、私たちの社会も含めて地球上の大きな循環=みずみちの一部を為しています。そしてかつての水田や里山がそうであるように、人が手を加えた自然は長い歳月をかけて環境を豊かにし、生物の多様性を育むことさえてきました。相互の調和—その関係性に逆らうことなく、地球と一体となって生きること。それが、これから目指していくべき持続可能な社会への一つの答えなのかもしれません。



水の循環にかかわる存在として、

いつまでも人々の生活の憩いと潤いが続くように。

Think Life. Make Act.

美しいこの惑星（ほし）の未来のために、

今日私たちにできることを。

私たちの挑戦は始まっています。

A L W A Y S W I T H J O Y

S A N E I

本資料に関するお問合せや I R ミーティングのご依頼

- ▽ 当社ホームページ <https://www.sanei.ltd/>
- ▽ メール ir-sanei@sanei.ltd
- ▽ お電話 06-6972-5955

担当：S A N E I 株式会社 I R 課

S A N E I 株式会社
<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。